2027東京 CUP 卓球大会
申し合わせ事項

1 団体戦の予選リーグ戦は11ポイント3ゲームズマッチ（2ゲーム先取）、決勝トーナメントは
11ポイント5ゲームズマッチ（3ゲーム先取）とする。原則として消化試合は行わない。
また、団体戦において、同一選手が同じ試合の中でシングルスに二度出場することはできない。

2 個人戦は11ポイント5ゲームズマッチ（3ゲーム先取）とする。原則として消化試合は行わない。

3 日本卓球ルールにおいてダブルスは、プレーヤーは交互に打球することになっているが、本大会は、原則として Aグループ を除き、試合前に相手チーム及び審判に申告すれば下記の方法でプレイすることができる。

センターラインの延長線を踏み越えずにプレイすれば、1人が続けて打球することが可能。

4 「車いすプレーヤー」と「立位プレーヤー」のシングルスにおけるサービスについては、レシーブ側のルールに合わせる。ただし、「レット」が宣告される前に打球した場合は、有効となる。

～～～～～～日本卓球ルール［令和8年度版］より抜粋～～～～～～

1.9　レット

1.9.1.5　身体的障害により車椅子を使用する競技者が、正しく出されたサービスをレシーブする際、次のいずれかが起こったとき、ラリーはレットとする。

1.9.1.5.1 レシーバーのコートに触れた後、ネット方向に戻った場合。

1.9.1.5.2 レシーバーのコートに触れた後、そのまま止まってしまった場合。

1.9.1.5.3 シングルスにおいてレシーバーのコートに触れた後、どちらかのサイドラインを横切った場合。

～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～

5 電動車いす（アシスト機能も含む）に乗り競技を行う選手は、競技中（プレー中）は電源をオフにすること。ただし、卓球台までの移動やコートチェンジ等の競技エリア内の移動の際には、電源を入れての移動を認める。

6 審判は原則として、団体戦予選リーグはリーグ内での相互審判とする。団体戦決勝トーナメント、個人戦トーナメントは敗者審判とする。審判ができない場合は本部へ申し出ること。

7 ユニフォームは、対戦相手にとって不利にならない限り、JTTA 公認以外のものを着用しても構わない。ただし、使用球（白）と同色は避けること。また、ダブルスにおいてもユニフォームを揃えなくてもよいこととする。

8 マスクを着用して競技する場合は、対戦相手に確認をすること。